

# 「政策打ち出せる党に」

## 国民民主県連大会で玉木氏



大会後の会見に臨む(左から)玉木共同代表、奥野県連代表、長浜参院議員、天野行雄県連幹事長。8日、千葉市中央区

### 政風 ちほ

5月に民進党と希望の党の合流で発足した国民民主

党の県連が8日、千葉市内で設立大会を開き、立憲民主党に移るなどして所属地方議員が35人に減る中、改めてスタートを切った。出席した同党本部の玉木雄一郎共同代表は「魅力的な政策を打ち出せる政党に育てなければ。県連と一緒に政

策を練り上げたい」と強調した。県連代表に奥野総一郎衆院議員が選任された。無所属となった野田佳彦前首相も来賓で登壇。前評判の低かったサッカー日本代表のW杯での活躍に触れ、「本番で皆が力を合わせ、ファンの評価は手のひらを返すように変わった。国民民主も来年の統一地方選、参院選で力を発揮して」とエール。県内の旧民進勢力

再結集に向け設立した地域政治団体「千葉民主連合」を通じた支援を約束した。

大会後、玉木氏は千葉選挙区で現職の長浜博行氏を公認見通しの参院選に「厳しい選挙になる。野田氏の団体や(労組の)連合を含めた応援態勢の議論を深めたい」とコメント。奥野氏も統一選や参院選で「野党が倒し合う愚を犯さないことが大切」と述べた。

県連副代表には谷田川元・元衆院議員が就き、県連代表だった長浜氏は常勤顧問となった。